揖斐川中だより

令和３年 12 月 24 日
揖斐川中学校
特別号

令和３年度学校評価（保護者評価）の報告

本年度の振り返りをし、次年度につなげる時期となってまいりました。保護者の皆様から貴重なご意見等、数多く頂きました。以下に、集計結果と主なご意見を掲載します。

よりよい学校生活のため、いただいたご意見を大切にして、職員一丸となり、保護者の皆様、地域の皆様と連携を図りながら、改善に取り組んでいきます。　（回収率：９２％）

No.	設　　問	評価平均(4 段階)（昨年度比）
1	コロナ感染防止、いじめ未然防止対策、自然災害対応、不審者対応等についてのマニュアルを活用し、計画的に研修や「命を守る訓練」等を実施することを通して、マニュアルを見直したり、児童生徒及び職員が危機を予知して未然に防止したりするなど、適切に対応している。	３．２３ (−0.12)
2	「生徒の良さを引き出し伸ばす」ことの重要性を学校職員が共通認識し、自分事として考えることを通して、伝統の３本柱のさらなる充実や主体性や自治力、共生力の育成に向けて全校体制で取り組んでいる。	３．１９ (＋0.11)
3	感染症対策を講じながらも、効果的な ICT 活用等により、学びを止めることなく、深い学びとなるよう具体的な指導改善を図り、確かな学力の定着と学習意欲を高めている。	３．１０ (＋0.12)
4	授業に生徒間の交流活動が位置づけられ、生徒同士で自力解決をしようとする学習意欲が高まってきている。また、指導方法が工夫改善され、基礎学力の定着や学力の伸びが見られる。	３．０６ (＋0.18)
5	児童生徒が互いに思いやりのある言動をすることができる指導を積み重ねるなど、いじめの未然防止に積極的に努めるとともに、いじめを発見した場合は迅速に組織で対応し、関係児童生徒及び保護者の不安や悩みが解消されている。	３．０３ (−0.02)
6	自ら考え、判断し、進んで行動することができる生徒を育成している。また、仲間に対する思いやりの心をもち、仲間と共に学級、学年、全校を高めていこうと努力する生徒を育成している。	３．１５ (＋0.01)
7	児童生徒が自分の食事や睡眠への意識を高め、生活習慣を確立させるとともに、地域の行事等に主体的に参加、貢献して地域の輪を広げている。	２．８９ (＋0.02)
8	保護者の思いを聞き、地域の方からの意見に耳を傾け、協力体制のもとで教育活動を展開している。また、地域に貢献し、地域の一員として活躍する生徒を育成している。	２．９４ (−0.02)

【主なご意見と今後の学校の取組の方向】

【危機管理に関わって】

・今は学校が楽しく、先生や友達との関係も良いのですが、弥富の事件を受け、親として不安を感じてしまいます。心の変化に気づいたら声をかけていただき、少しでも不安を和らげるようにしてほしい。
・実際の災害のときに起こるであろう想定外のことにも対応できるよう、常に考え行動できるように、母親委員会の在宅研修で行ったような備えをしておきたいと思います。コロナ対策は継続してほしい。
・コロナ禍の状況でしたが、研修などに行かせていただいてありがたかったです。

→今後も生徒の表情やしぐさ、様子を観察し、生徒の心に寄り添うことを大切にしながら学校教育を推進していきたいと考えています。

→近年、台風や地震など、想定以上の被害をもたらす自然災害が相次いでいます。今後も、非常時に際して、生徒自らが一人でも適切に判断をして行動できる力をつけていくことが大切であると考えます。そのために、『命を守る訓練』を中核とした防災教育を工夫しながら進めていきたいと考えています。

→新型コロナウイルス感染防止については、今後も学校の感染対策を継続して行っていきます。

【学習に関わって】

・学び合いは、困ったときに相談したり、教え合ったりすることができるので、子どもも喜んでいます。
・友達にわからないことを教えてもらって、わかるようになったと喜んでおります。恥ずかしがり屋には、ありがたいです。先生にも気軽に質問できるようになるともっとよいです。
・テスト内容が難しいと思う。そういう問題を出すなら、様々な応用問題をやらせてから、テストにのぞませてほしい。
・コロナの緊急事態宣言時に学べなかったところなど、復習する時間を作りながら進めてほしい。

→本年度、本校では『自ら考え、仲間と共に自力解決を目指す生徒の育成』を主題とし、１１月には主に町内の学校に実践を公開するなど、研究実践を進めてきました。各教科の授業における『学び合い』は定着しつつあり、生徒の充実感も高くなってきています。来年度も大きな方向性は継承しながらも、実践の効果を客観的に検証し、より学力向上に実効性のある取組を精選して行っていきたいと考えています。

【ＩＣＴ活用に関わって】

・欠席時のタブレット学習はありがたかったですが、声が聞きづらいので、声をひろえるようなマイクを付けてくださると指示や大切な所をきちんと聞けると思うのでお願いしたい。
・コロナワクチン接種後の体調不良で学校を欠席した際、タブレットを使用し授業に参加できたことはよかった。今後もタブレットを活用し、参加を選択できるオンライン授業を進めてほしい。
・ICT の活用を、もっとやった方がいいと思う。例えば、土、日も持ち帰って、学習することができるようにするなど。ワクチン接種後の家庭学習へのタブレット活用等、事前準備と対応は早かった。
・家でもオンライン等、遊び方も増えたので、食事や睡眠よりも、自分のやりたいことを優先しているように感じる。スマホの普及で、睡眠時間は確実に減っているし、睡眠の質が低下していると思う。

→適切な情報機器の利用の仕方、健康を大切にした家庭での生活規律の確立などは、学校と家庭とが連携して取り組むことではじめて成果が上がることです。保健だより等での啓発を柱として、連携を深めながらより健全な生徒の育成を目指すとともに、有効なＩＣＴ活用をしていきたいと考えています。

【思いやりのある言動に関わって】

・本人にいじめをしている認識がない場合があるので、様子がおかしいと感じたら、声をかけてほしい。
・コロナ禍のため仕方なかったが、授業参観がないので学校や授業の様子が分からなかった。
・研修でのしおりを見ると、自分の考えや行動などを振り返り、自己を振り返る力がついていると感じます。ただ、人を傷つける言動については、どの家庭でも厳しく指導することが大切だと思います。
・学年通信で個人名を挙げて具体的な内容でほめている文面が多くあり、楽しく読ませていただいています。生徒の良いところを見つけ載せるのは良いと思いますが、無記名でもよいのではないでしょうか。

→毎月はじめの教育相談アンケートをはじめとし、よりきめ細かな実態把握に努め、学校体制での早期対応、早期解決を心がけています。今後も生徒の表情やしぐさ、様子を観察し、生徒の心に寄り添い、地域や保護者の皆様からの情報も取り入れながら、さらに取組を強化していきたいと考えています。

【地域とのつながりに関わって】

・部活動の選択肢がどんどん少なくなっていくのが残念です。途中で、廃部や活動終了になる場合、その後も別の場所で続けられるように移籍先など、代案を提案していただけると有難いです。
・コロナの中で過ごしている子供にとって、部活動などで意欲を持つことがとても難しいように感じます。少しでもやる気が出るように、この先色々な活動ができることを願っています。
・コロナ禍ということもあり、保護者⇔先生、地域⇔学校のコミュニケーションは不足していると思う。地域へ出向いての交流、貢献（ボランティア）など、地域行事には参加できず残念です。
・自分が住む地域への交流などは全くないため、地域住民とのつながりは希薄な印象を受けます。コロナ禍なので仕方ないところもあるが、情報があまりないのは時代の流れを感じています。
・地域行事への参加はコロナ禍で難しいが、もう少し海外のようなボランティアへの関心を持てる指導や取組があると良いのでは？と思います。

→今まで慣例的に行ってきたつながりが、コロナの影響を受けできない状況が続いていますが、すべてをなくすのではなく、地域の諸活動を見つめる視点を変えることで、活動の質の向上を図ったり、できる方法を模索したりしながらすべきことを見極めていきます。地域社会の教育力をさらに一層活用していくためにも、今後もいろいろなご意見やご協力をいただけると幸いです。

【この他いただいたご意見についても来年度への改善のための指針とさせていただきます】